

MIVSの進化と真価

Alcon®

— 新しい27Gシステムの登場 —

第117回 日本眼科学会総会 モーニングセミナー 6

日時：2013年4月6日(土) 7:50 ~ 8:50

会場：第4会場《東京国際フォーラム Bブロック5F ホールB5(1)》

a Novartis company

座長



白神 史雄 先生(岡山大学)

演者



大島 佑介 先生(西葛西・井上眼科病院)

演題：「MIVSの進化」

演者



大澤 俊介 先生(岡波総合病院)

演題：「27Gの真価」

硝子体手術において、しばらく20Gが確固たる地位を築いていましたが、21世紀に入って25G、23Gが登場しました。当初は剛性や効率、術式等の多くの課題と向き合った事はご記憶に新しいと思います。そこからの試行錯誤、更に23Gや25Gエッジプラスの登場により、剛性、効率の問題が改善された事でMicroIncision Vitrectomy Surgery (MIVS) は急速に広まってきました。2010年には市場の75%がMIVSとなり、更に2011年にコンステレーション®ビジョンシステムが発売されたことで、コンステレーション®使用ドクターの約80%が現在25Gを使用しています。

さて、遂にAlcon®社も27Gシステムを発売することになりました。25G発売当初のように、剛性、効率に問題はないか? ご自身の手術に27Gは必要か? 現在の25G並みに幅広い症例で使用する事が可能か? など、27Gと聞くと、さまざまな期待や疑問をお持ちになると思います。

そこで、本セミナーを通じて、前述の27Gシステムへの期待や疑問等を、既に27Gシステムで多くの症例を経験してきた2人の先生と一緒に考えていきたいと思えます。土曜日は少し早起きをして、硝子体手術が再び変化を迎える瞬間を共有しましょう。

共催：第117回 日本眼科学会総会・日本アルコン株式会社

日本アルコンはMedical Mission ProgramやAlcon Novartis Hida Memorial Awardを通じて眼科医療の発展をサポートしています。